

第12回 運営推進会議 議事録

実施日 : 平成21年7月15日(水)
内容 : 経過報告について
場所 : 西町内科クリニック 1 階待合室
時間 : 午後 13:15～ 14:15
参加者 : (家族)相澤氏・木藤氏/(町内会)高士氏・瀬野氏/
(支援センター)山埜氏/(医師)小笠原氏/(管理者)谷口

計7名

欠席者 : 無し

計0名

<会議内容>

1. 前回(4月)開催からの経過報告について

*4月/5月/6月に発行した「西まち」便り配布し内容を報告した。(資料①)

- ・4月号⇒毎月月末には「お楽しみ食」を行なっている。その月にお誕生日を迎えた方の好きな食べたい物を聞き祝いも兼ね提供している。(お誕生会は誕生日その日に行なっている)3月のお誕生日の方が「鮎」の希望がありボランティアの方の応援でホームパーティをした。
- ・5月号⇒毎年「お花見」は北海道神宮へ行っていた。年々入居者の高齢化が進み、外出時は殆どの方が車椅子使用者となってきた。北海道神宮の地は砂利地なため、移動時大変困難を要し、今年は「モエリ沼公園」へ行った。しかしお天気は良かったが時期が早く「桜開花」はしていなかった。
- ・6月号⇒入居者の殆どは「お餅」が大好きです。食べていただくには少し不安はありますが2階・3階入居者とスタッフ合同で「端午の節句・お餅昼食会」をしました。お餅で作った「こいもぼり」は大好評でした。

2. 「看取り」を経験した報告について

・6月21日93歳女性 A さんの「看取り」を経験した。開設当初、家族と本人が見学に来られ、本人の「ここに決めた」の一言で入居がきまり、入居して4年6ヶ月でした。この間「慢性気管支炎」で点滴治療を受けたり、突然半身麻痺症状が現れ脳外科受診「脳出血」と診断され入院。治療終了後、他院へ転院し数ヶ月がリハビリ入院した。家族が「ホームに戻してあげたい」という希望と、多分本人も「望んでいるだろう」という家族の思いを叶えホームに帰ってきた。帰ってきた時には寝返りも出来ない半身麻痺、言語障害、しかしうなずき程度の表現は出来ていて、固形物の嚥下は出来ないが水分の飲み込みは出来、どうにか栄養補給はできていた。1年ほど前より機能低下も進み点滴補給することも多くなってきていた。「最後はこのホームで」という家族の強い希望でした。死に逝く本人の思い、それ

を見送る家族の思い、それぞれの思いを大切に受けとめ、その時期がきても慌てず落ち着いて対処できるようにスタッフには教育・指導し対応した。

呼吸状態の変化から「死期」に近いことを予測し、家族を呼び・・最後は家族やスタッフの見守る中、静かに息を引き取った。

このように看取りまでの経過と死を迎える人の思い、現実を受け止め見送る家族の思いを感じながら、その環境を整えることの大切さを！報告とした。

3. 「西まち」夏祭りについて

・別紙②資料・・内容を説明した。

以上

次回運営推進会議開催日 平成21年10月21日(水)予定

記録者：グループホーム「西まち」

谷口 良子